(一) 第1031号　【昭和27年9月25日 第三種郵便物認可】　みいけ　(毎月二回1日、16日)　昭和51年3月1日（月）

炭労大会 春闘方針を確立

炭鉱労働者にふさわしい労働條件の確立へ

対資本闘争を強める

炭鉱労働者の期待のうちに東京で開かれた炭労臨時大会は、これまでの弱点を改め、対資本闘争を強めることによって守勢から攻勢に転じ、全国的な統一と団結の力を基礎に、真に炭鉱労働者にふさわしい労働・生活条件の確立をめざし、たたかうことをきめた。

こうして、炭労の春闘も事実上歩み出すことになった。

炭労の臨時大会は二十六―二十八の三日間にわたり東京で開かれ、①新年度の運動方針、②石炭政策・春闘方針、そのほかの諸課題について態度を確立した。

基本的な態度としては、炭鉱労働者こそ、生活・労働条件において、世間一般の水準どころか、労働にふさわしいものを獲得すべきであるとして、そのために従来の弱点を克服し対資本闘争を強め、それによって炭労のたたかいを守勢から攻勢へ転じ、団結の力でこそ全要求を獲得しなければならない、との決意を固めた。

従って炭労は七六春闘に重大な決意でのぞむことになるが、要求のなかでも大幅賃上げ要求額は

新港町社宅入口から呼びかける、地域分会のアピール。社宅での生活環境改善を要求している言葉の裏に、やがて燃えあがる春闘の炎がゆるぎ始めている。全地域をアピールで包もう。

際の支援に対するお礼状が寄せられてきました。「七片の坑底にいまなお閉じこめられている十三名の仲間を、一日も早く家族のもとに返すこと、それが即閉山阻止、再開へつながることと決意している」、と述べられています。

幌内労組からお礼状とどく

昨年十一月二十七日に発生した幌内炭鉱のガス爆発は、多数の労働者を犠牲にしたが、こんど同労組山崎博執行委員長の名で、その

発行所
三池炭鉱労仂組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番 ③3034番
編集兼発行人 山下 開
半年間1.000円 送料共

国民生活悪化許せぬ

広く署名集めすすむ

三池労組も

春闘共闘委員会は、とりわけ重大さを加えてきた春闘へ国民全体を結集し、次の五項目の国民要求の実現をめざす〝二千万人署名運動〟を、県―地区の組織や、単産・単組に協力を求めながら、全国にわたって展開している。

それら五項の要求が、どの一つをとっても政府の政治責任にからんでいるところから、この署名は集められたうえで、前尾繁三郎・衆議院議長と、河野謙三参議院議長に送ることにしている。

事態のすみやかな解決が、切に望まれる。なお、五項目の要求は次の通りである。

一、インフレから国民を守るため国鉄運賃・電信電話料金大幅引き上げなど公共料金値上げ・国民負担増反対、「独禁法」改正を要求します。

二、社会保険料・掛金の大幅引き上げに反対し、福祉切りすて、「耐乏生活」を強いる五十一年度国家予算案の組み替えを要求します。

三、全国一律最低賃金（労働四団体統一要求・野党共同法案）の改善を要求します。五、スト処分に反対し、ストライキ権をはじめとする労働基本権の確立を要求します。

四、失業に反対し、雇用保障制度（労働四団体統一要求・野党共同法案）の法制化を要求します。

×

なお三池労組では、いま署名活動がすすんでいる。これ以上、労働者・国民の生活を悪化させてはならない。

怒りを二、万署名へ

課題を今後に残す

労協・福利、継続交渉へ

三池労組はかねて労働協約関係ら改善されず、労働者の生活を基本的に改善するために絶対必要な課題の解決は、今年もまた大きく今後に残されることとなった。

とりあえず三池労組としては、①要求中の文化資金、永年勤続者表彰については昨年どおり協定する。②住宅資金については、三池労組と三井石炭会社との間の二者協定とする。③全般的に、会社回答は誠意あるものとはいえない。不満な点は、今後山元問題の処理を含め、継続し交渉を重ねてゆく――との態度をきめた。

とりあえず労協・福利厚生闘争が、会社側の不誠意のため不満足に終ったことは、必ずや三池炭鉱労働者の怒りを呼ばぬはずはなく、むしろその分だけ大きく燃えあがる怒りをエネルギーにかえ、これからスタートする春闘へ向かってもりあげてゆくことが、ますます重要となってきた。

なお、この闘争の詳細については、ここでは省略する。

「三万円プラス金属鉱山との格差是正」、でゆくことになった。なお、詳細は本紙次号に紹介することとする。

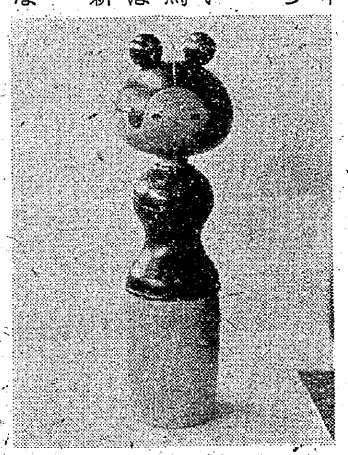
新婚のカップル来組

二月二十四日のこと、二十二日に結婚式を挙げたばかりのひと組のカップルが来組。

新郎は石井重信さんといい、新婦は同文江さん。群馬県の人で、スイートホームは同県渋川市行幸田七の三。新郎の重信さんは市役所勤務。

「三池のことは、いつもなにかにつけ聞いていたし、新婚旅行のときはぜひ」、ときめていたとか。

交流のあと、次の予定地へ去っていった。



同お形会おすと、入るまんがし守がりさ婦け族たの祈信夫亡遇れを重婚たOくせ井新ってCてわ石の贈はっあんにんわしはさげさ加の真江や井も人写文み石に2

1万人が国会へデモ

最悪の予算に抗議

【連合】「七六春闘勝利、二・二六インフレ・高負担予算反対中央集会」が二十六日夜、日比谷野外音楽堂でひらかれ、春闘第三次統一行動の火ぶたがきられた。集会には、臨時大会会場からかけつけた自治労組合員をはじめ一万人（主催者発表）が参加。ロッキード疑獄糾弾とあわせ、闘う決意を示した。

会場で、三菱の会社つぶしと闘っている全金浜田精機支部の松浦政雄さんは「一昨年七月に倒産させられたが、地域で浜田の話をきかせてくれとたのまれる。がんばってきたかいがある」といい、新聞労連共同通信労組の藤田学さんは「一動続四年、二十七歳で手取り八万二千円。六万四千円の要求は高くない」と大幅賃上げ獲得への意欲を語った。あと、国会へ向けデモ行進に移った。

次闘三行統一春動